新成人者に抱負を聞く

ことしも、一九五名の人が成人となられました。ほんとうにおめでとうございます。

きっと若さあふれる清純な情熱のなかで、成人社会での新しい夢が駆けめぐつていることと思います。この夢には先輩のおとなたちから、大きく期待されるものが託されているわけです。

そこで、喜びの成人をむかえた人たちの中から八名の人を選び、その夢、つまり抱負を聞いてみましたところ、五名の人からお返事をいただきました。

純真な若人の考えが、一つの波紋となつてひろがり、くもりのない灯が一つ一つともされて明るい社会が築かれていくことを期待いたします。

「公明選挙」の推進を

善慶寺（農業）一孝 清水

休みなく自転する地球の片すみに人の子として生れ、あらゆる周囲の恩恵をうけて成長し、満二十年の成人の日を迎えて大人の社会への第一歩をふみいれるにあたり、今一番強く望んでいること、それは真の「公明選挙」をということです。

「公明選挙、公明選挙」とさけばれている今日、地方選挙においてのあの態度は一体なんといえるのでしょうか。

告示から投票までの運動期間中、候補者の近所はもちろん部落中が仕事を忘れてお祭りさわぎ。そしてこれがただ人とのお付合という義理人情的な気持で、皆おたがいに「あんなさわぎは」と言いながらも毎々くり返えされているのではないでしようか。

また、他に信頼できる立派な候補者がいても、運動期間中近所の候補者の方の応援をして歩く。それは、その候補者も信頼できる立派な人ならともかく、ただ近所だからという「誰をおいても地元の候補」主義のやり方の人、意外に多いのではないでしようか。

私は、義理や人情にからまれず、自分の信ずる者に投票してこそ、本当に清い選挙であり、明るい町政、県政、国政が生まれるものと思います

そして今後の選挙においてあんなお祭りさわぎの馬鹿なことがくり返えされぬよう、強く願つています。

法律に強くなりたい

上野（法務局勤務）田中江美子

まず法律に強くなりたい。弁護士になりたいと思つているのではありません。私達の日常生活では、法律とは縁の遠いもののように考えられがちですが、毎日食べている米や野菜、それに電車賃、電灯料、水道料など一つとして法律の範囲内で生活していない人はありません。

出生届から婚姻届、死亡届も必要です。私達は何万という法律や命令の中に生きています。一秒間も法律から離れては生活できない状態におかれているのです。

法律を知らないために、悲境や困窮のどん底にあえぐ人々が今日も新聞紙上をにぎわせています。出生届の期間を過ぎし過料を払う親、年末調整の手続きを知らないために支払わずにすむ税金を払つている人婚姻届をしないために相続権がない人、認知の手続きを知らないために不明の子として泣く子、自動車をぶつけられてお金がないからと運転手にいわれあきらめる人、数えあげればきりがありません。

これらの人々に、法律知識の持合わせがあつたなら、こうした悲劇や損害はおそらく未然に防ぎ得たことでしよう知らないことほど、恐しい事はありません。

法治国の国民であるかぎり一日も早く法律の精神を理解し、正義の実現のため、利益の保護のため利用すべきだということを、新しく成人となつて強く感じています。

内容のある人間に

新春の喜びとともに、私達が成人式を迎えるという二重の喜びを持つことができることを、非常な幸いと思つている。過去二十年間の「未成年社会」に別れを告げ、いま、いわゆる「一般成年の社会」に一歩をふみ出そうとしている感慨は、またひとしおである。これからの私達は、社会から成人としてのあつかいを受けることになる。しかしこれだけで満足してはならない名目上の大人には誰でもなることが出来る。内容のともなつた大人となるための努力を私達は惜しんではならないと思う。

中学時代に自分の教室に「自主」「責任」「礼儀」の三文字がかかげてあつたことを記憶している。その当時はあまり注意もはらわなかつたけれど、現在思うに、この三文字を完全に自分のものとした人間こそ本当に「立派な人」ではなかろうか。

福島（群大学生）彦 征原 篠

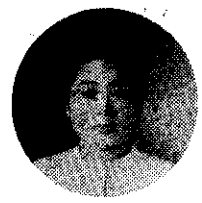
八方美人的ではない自主性と、いついかなる場合にも自分の一挙手一踏足にすら責任を感じ、また、どんなときにも、外見だけで物事を判断するようなことのない理性と、正しい礼儀をわきまえた人間こそ私達の理想であり、私達がこれから目指して行かねばならない目標ではないだろうか。

最後に、明日の平和な明るい社会は私達の双肩にかかつているという誇りを持ち、そして名前だけの大人には決してなりたくないものである。

自分の言動に責任を

成人式を迎えて、私は一体何を考え、これから先どのような態度で社会にのぞめばよいのでしようか。成人式を迎えたとはいえ、昨日の私と少しも変らない今の私にとつてそれは少し無理な注文かもしれません。しかしだからと言つて今までのような甘い考え方や態度で、社会にのぞむことは到底許されるべきではありませんし、第一それでは成人した価値がありません。

「成人」が心身ともに一人前の人間になることを意味するのならば、この機会にこそ私は今までのような甘い考え方や態度を改め、次代の日本を背負つて立つ国民としての自覚を大いに高める必要があると思います。



福島（農協勤務）高橋 清子

それにはまず第一に、依頼心をすてどんな小さなことでも、自分でやりとおす習慣を身につけて、一日も早く自分の言動に責任が持てるような立派な社会人になることが大切だと思います。そして自分は常に社会の構成員の一人なのだということを忘れず、自分勝手な行動をつつしみ、自分の考え方や行ないがそのまま社会の恩想となり、行動となることを自覚すべきだと思います。そのためには、何人かでグループを作り読書会を開いたり、お互いの意見を発表しあつたりするのもよい方法だと思います。そうした話し合いの場で、お互いの誤つた考え方を是正し合い、少しでも新しい日本を建設するために役立ちたいと思います。

「成人の自由」を考えたい

―光陰は矢のごとき―

時の移り変りの激しい、この世に歩き出して――きようまでを整理した今、希望も新たに、これまでの貧しい知識の上により多くの知識と経験を重ね、この素晴しき人生の門出に立ち、いくつかの目的にむかつて、前進したいと考えました。

人生において一番大事な時期である二十代、思想、精神そして知識のかたまりを最大限に吸収して、自己化できたならと思います。人生の基礎にあたる今後の重要な時期をこの目で見詰め、味のあるものにしたいと思います。

天引（郵便局勤務）田中文子

"成人の自由"今までとちがいその幅も広く感じ、それに順応し得る意志と責任を持ち最も成長期にある年令を、いろいろな方面に活用したい気持です。それにはまず、自分自身に誠実であること。難しい事ですが、少しでも自分に納得できるような生活から成人への道を歩み始めたい。

余りに漠然とした目的ですが、私達のしあわせにむかつて、皆さんと一緒に、新しい第一歩をふみしめたいと考えております。

新しい成人者へ

(1)　気の強き人は大病に弱し、気弱き人は病み抜く気強きは病に対し強く抵抗するがゆえなり。気弱き人は病に抵抗せず、したがつて肉体の自然力が病気に対して障害なく戦うゆえに大病に強し。気強きは何事にもはげしく抵抗を感じて、これを征服せざれば安まらざるだけの事にして、反対に気弱き人は抵抗感も弱くその時その場をほどほどにして、いつかは勝つ時あるものなり。

(2)「忍耐」

我が身がつらいと思う時には、他にも同じような事で身のつらさを嘆いている者の数多くある事を忘るべからず。天は一人にのみ苦しみを与えるものにあらず

以上二つの文章は、私が今まで人様に書いて差し上げ、それが床の間の座敷にかかげられ、その家の人に文句がよいと感謝されている。

(1)には、人には強弱がないのだということを示したものです。口論や争い事で負けない気性の人は、目に見えない精神的な面で弱いやさしい所を見せます。一見温順な人が、非常な場合にテキパキした力とはげしさを示す事も随分多いものです。そうした面から強気の人は自制の面で反省していただき、弱気の人は積極的に自己を生かして行かれるように願います。

(2)は人間が失意の場合、自分はどうしてこんなにみじめなんだろう、自分はもう不幸なんだとか思いこみ悲観的になつた時の心の持ち方、なぐさめの一例として書いたものです。

現代は非常にむずかしい時代です。生活は目を追うて高度化し、スピード化し精神的、肉体的に無理を重ねなければ過ごして行けません。直接に肉体に加えられる外傷、細菌などのほか精神的な不安、苦しみ、緊張などいわゆるストレスが多いわけです。これが胃や腸の病気の原因になることはご承知の通りです。

新年を迎えて成人式に臨まれる人達は現代の流れに抵抗感もなく極めて自然にその中で育つて来た関係や実社会の経験の浅さから、ともすれば世の中を安易に考えているかも知れません。そして現代の美点はもちろん欠陥といわれ、文化の罪といわれるものまでも自然と身につけていることでしよう。実際には私共おとなをしのぐ立派な思考力を持つた人たちも数多い事と存じています。

それにもかかわらずこれからの皆様への贈り言葉として、二つの文を書いたのですが、この言葉が何等かの際思い出されてお役に立てば、しあわせと存じます

教育長　巌 良勝

福島Aチームが優勝

元旦町内一周駅伝で

静かな暖い、平和そのものを思わせるような元日とは全く対照的に、盛大に行なわれた町内一周駅伝大会で、福島Aチームが優勝しました。

これは、当町の体育協会（柴山俊一会長）が、町つくり人づくりの一助としようとして例年行なつている行事で、いまでは全町民の協力のもとに、全町的行事となつています。

大会成績は次のとおりです

①福島Aチーム、1時間57分26秒、②上野チーム、1時間57分42秒、③秋畑Aチーム1時間57分43秒　④第一区チーム、⑤新屋Aチーム、⑥福島Bチーム、⑦城南・轟チーム、⑧善慶寺・国峯チーム、⑨新屋Bチーム、⑩城町チーム、⑪秋畑Bチーム、

小幡～多胡線

改修工事推進委員

十一月広報で委員会の委員を紹介しましたが、次の二氏がもれておりましたので、おわびするとともにお知らせします。

松井斧吉・堀口源吾

成人者氏名―追加―

前号でお知らせしました成人者名簿からもれていた該当者は次のとおりです。

【大字小幡】田村富美
【大字上野】土屋政江
【大字秋畑】松井絹江、篠カツ江、飯塚保枝
【大字小川】堀口晃三
【大字福島】山田勲、中島恒夫、布施展子
【大字金井】小林美奈実
【大字白倉】堀口勲

保険税62万円を減税

法の改正により、38年度から低所得者に対して、保険税を減額する規定が出来たことは、この前の広報でお知らせしたとおりですが、その内訳は次のとおりです。

1、九万円以下で十分の六減額になる世帯四二五世帯、被保険者一、四三八人

2、九万円以上基準額以下で十分の四減額になる世帯、二九八世帯、被保険者一、七二六人

合計七二三世帯で、六十二万六千九百円が減額になりました。なお、対象となつた世帯全部に変更通知を出し、納め過ぎとなつた世帯には還付いたしました。

身近に政治的教養を

おほどかに明けた新春を心からおよろこび申し上げます。

一年の計画をたてるのに新年ほど誰しもが希望に胸をふくらませるときはありません。とぐに今年めでたく成人をむかえる皆さんには、その思いもひとしおのものがあろうかと思います

あらたに選挙権を得て、これから先、多くの選挙を経験するわけですが、そのみなさんの真剣な表情には明日の社会をつくりだす気はくがみなぎつているように思います。私たちの生活が経済的にも、精神的にも向上することは人間として誰しもがのぞむところでありますが、民主主義国家における私たちの義務は、政治に積極的な関心を示すことだと思います。言葉をかえて申すなら、私たちの身近に「政治的教養」をつみあげたいことです。

政治を行なうのは、自分であるという自覚と責任をもつて、自分たちの生活をよくし、幸福になるためには何をすればよいかということを十分に考えたいものです。日々の試練にたえて、正しく選挙権を行使していただけるようお願いします。

甘楽町選挙管理委員長　鈴木柳一郎